

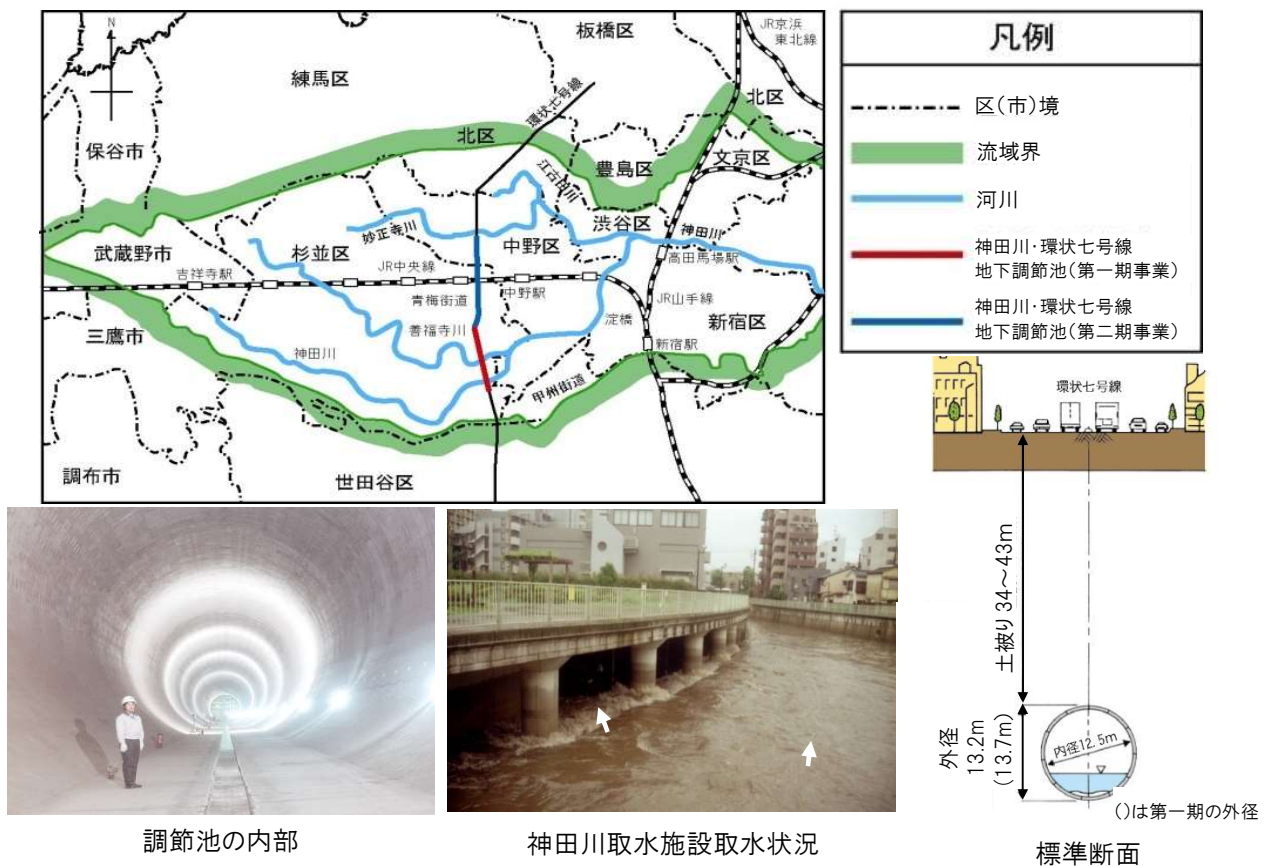
神田川・環状七号線地下調節池（神田川・善福寺川・妙正寺川）

施設概要

神田川・環状七号線地下調節池は、長期間を要する下流側の護岸改修に先行し、水害が多発していた神田川中流部の治水安全度を早期に向上させるため、都道環状七号線の下にトンネルを設置し、神田川、善福寺川、妙正寺川の洪水約 54 万 m^3 を貯留する施設です。

第一期事業では、「延長 2.0 kmのトンネル」と「神田川取水施設」を建設しました。工事は昭和 63 年に着手し、神田川取水施設は平成 9 年 4 月から取水を開始しました。

第二期事業は、第一期トンネルと接続する「延長 2.5 kmのトンネル」と「善福寺川取水施設」と「妙正寺川取水施設」を建設しました。工事は平成 7 年に着手し、善福寺川取水施設は平成 17 年 9 月より取水を開始し、妙正寺川取水施設は平成 19 年 3 月から取水を開始しました。



施設諸元

	第一期事業	第二期事業
位置	自 杉並区和泉一丁目	至 中野区野方五丁目
完成年度	平成 10 年度	平成 19 年度
施設形式	地下トンネル式	
取水施設	神田川	善福寺川、妙正寺川
越流堤延長	123m (神田川取水施設)	53m (善福寺川取水施設)
トンネル内径 (m)	12.5m	12.5m
延長 (km)	2.0 km	2.5 km
貯留量(m^3)	240,000 m^3	300,000 m^3

位置図



取水施設位置の QR コード

妙正寺川取水施設



善福寺川取水施設



神田川取水施設

